

## 5 がんの早期発見

### 目指す姿

- 県民が検診の重要性を理解し、受診しています。また、有効な正しい方法のがん検診が行われ、早期発見されて、がんで若い人が亡くならない社会になっています。
- 上記の目標を達成するため、県内で効果の高い検診が実施されています。

### 《分野別目標》

| 区分           | 指標             | 現状値（基準値）       | 目標値            |
|--------------|----------------|----------------|----------------|
| 最終目標<br>中間目標 | がん検診受診率        |                |                |
|              | 胃がん　　(40歳～69歳) | 29.3%<br>(H22) |                |
|              | 肺がん　　(40歳～69歳) | 20.2%<br>(H22) |                |
|              | 大腸がん　(40歳～69歳) | 24.7%<br>(H22) | 50%<br>(H29)   |
|              | 子宮がん　(20歳～69歳) | 35.7%<br>(H22) |                |
|              | 乳がん　　(40歳～69歳) | 35.7%<br>(H22) |                |
|              | 要精密検査受診率       |                |                |
|              | 胃がん            | 70.4%<br>(H22) |                |
|              | 肺がん            | 85.9%<br>(H22) |                |
|              | 大腸がん           | 66.4%<br>(H22) | 90%以上<br>(H29) |
|              | 子宮がん           | 61.8%<br>(H22) |                |
|              | 乳がん            | 85.2%<br>(H22) |                |

### ①現状と課題

がんによる死亡を減少させるには、がんを早期に発見し、早期治療につなげるため、自覚症状がないうちにがん検診を定期的に受診することが重要です。

本県のがん検診受診率は、平成 22 (2010) 年の「国民生活基礎調査」によると、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がんの各検診とも全国平均を下回っています。

県民の多くは、「心配な時は医療機関にかかる」、「忙しくて時間がない」、「必要性を感じない」、「お金がかかる」などの理由により、受診行動へつながっていない状況です。

受診率の向上とともに有効な正しい方法で、質の高いがん検診を受けてもらうことが重要です。

また、本県では、肺がん検診の要精密検査率が高い、胃がん、大腸がん、子宮がん検診の要精密検査未把握率が高い等の課題があり、精度管理向上に向けた対策が必要です。

県内にはかつて石綿を使用していた事業所があり、またそれらの事業所の周辺住民に中皮腫の発症が報告されていることから、健康不安の解消と効果的な検診による早期発見と適切な受診を促すことが課題となっています。

県では環境省の委託を受けて、平成 19（2007）年より石綿の健康リスク調査を実施しており、平成 22（2010）年からの 5 年間について第 2 期石綿の健康リスク調査として取り組んでいます。

## ②取り組むべき施策

### ○がん検診の受診促進

がんに対する正しい知識や予防のための望ましい生活習慣の確立に向け、がん検診の受診状況や検診内容についての実態把握に努めるとともに、講演会や街頭キャンペーンなどのイベントや広報紙、県ホームページ、マスメディアを活用した情報発信等による普及啓発に取り組みます。

企業、医療機関等と連携し、がんの予防やがん検診受診に関する普及啓発を推進します。

県民が、がん検診を受ける気運づくりや正しい知識の普及、理解の促進に取り組むために設置した「がん検診を受けよう！」奈良県民会議の構成員である行政、地域、企業、団体がそれぞれの立場で、受診率向上の取組を進め、受診率 50%を目指します。

がん検診受診率の向上に向け、休日や夜間にがん検診が受診できるなどのがん検診の受診機会の充実や、市町村が受診台帳を整備し、コール・リコールなどのがん検診受診勧奨ができるよう支援を行います。

市町村のがん検診の受診率を向上するための手法の検討や県内企業を対象にした「奈良県がん検診応援団」の支援、事業所におけるがん検診の受診体制の整備検討、地域の草の根活動としてがん検診受診の呼びかけやがんに関する正しい知識の普及ができるがん予防推進員等の育成を進めていきます。

### ○検診精度の向上

科学的根拠に基づく検診を促進するとともに、精度の高い検診実施体制の構築に向け、検診実施状況や検診結果のデータの分析を行い、精度管理の評価の実施、がん検診従事者を対象とする研修会の開催などによる人材の育成及び質の向上に努めます。

## ○石綿の健康影響に対する対策

中皮腫で亡くなられた方の遺族を対象に石綿ばく露による健康影響調査を行い、結果を公表することにより適切な検診受診の周知を図ります。

また、環境省の委託調査事業等に協力することにより、石綿のばく露の可能性の高い県民に対し、精度の高い検診を実施するとともに県内での石綿ばく露による健康影響の公表に努めます。

石綿ばく露による健康不安を持つ県民には保健所において相談を行います。

県民への石綿ばく露による健康影響の正しい知識の普及啓発や検診従事者の技術の向上を促し、検診体制の充実を図っていきます。

### ③施策の目標、年次計画・実施主体

| 施策の柱       | 指標                   | 現状値<br>(基準値)         | 目標値           | 主な取組                           | 年次計画            |          |     |     | 関係機関 |   |     |        |
|------------|----------------------|----------------------|---------------|--------------------------------|-----------------|----------|-----|-----|------|---|-----|--------|
|            |                      |                      |               |                                | H25             | H26      | H27 | H28 | H29  | 県 | 市町村 | 拠点病院   |
| ●がん検診の受診促進 | 20.2%～35.7%<br>(H22) | 61.8%～85.9%<br>(H22) | 50%<br>(H29)  | ・がん検診受診勧奨キャンペーン等の実施            | 検診受診勧奨キャンペーン実施  |          |     |     | ◎    | ○ |     | 県民患者家族 |
|            |                      |                      |               | ・広報紙、インターネット、マスメディア等を活用した情報発信  | 実施              |          |     |     | ◎    |   |     |        |
|            |                      |                      |               | ・「がん検診を受けよう！」奈良県民会議の開催         | 関係機関の取組の推進      |          |     |     | ◎    | ○ | ○   | ○      |
|            |                      |                      |               | ・企業と連携した（奈良県がん検診研究団）がん検診受診啓発   | 関係機関取組の推進       |          |     |     | ◎    | ○ |     | ○      |
|            |                      |                      |               | ・市町村への受診率向上に向けた取組（コードリコール等）の支援 | モデル取組の拡大        | モデル取組の拡大 |     |     |      | ◎ | ○   | ○      |
|            |                      |                      |               | ・がん検診受診機会拡大体制づくりの検討            |                 | 市町村事業所支援 |     |     |      | ◎ |     |        |
|            |                      |                      |               | ・市町村・保険者・医療機関との協議の実施           | 取組の推進           | 実施       |     |     |      | ◎ | ○   | ○      |
|            |                      |                      |               | ・がん予防推進員の育成                    |                 | 育成       |     |     |      | ◎ | ○   | ○      |
|            |                      |                      |               | ・がん検診従事者の資質向上のための研修会の開催        | 研修会開催           |          |     |     | ◎    | ○ | ○   |        |
|            |                      |                      |               | ・がん検診精度管調査の実施・公表・指導            | 市町村集団検診機関精度管理調査 |          |     |     | ◎    | ○ | ○   |        |
| ●検診精度の向上   | ●石綿の健康影響に対する対策       | ●石綿ばく露健康リスク調査件数      | 456件<br>(H23) | ・対象者の広報                        | 広報による啓発         |          |     |     | ◎    | ○ |     |        |
|            |                      |                      |               | ・保健所での相談実施                     | 相談の実施           |          |     |     | ◎    | ○ | ○   | 保健所    |
|            |                      |                      |               | ・アスベスト検診從事者研修会の開催              | 研修会開催           |          |     |     | ◎    |   |     |        |